

[博士論文審査要旨]

申請者：高橋 和宏

論文題目：『新旧二面市場プラットフォームの転換プロセス』

審査員 佐々木将人

福地宏之

藤原雅俊

新プラットフォームへの顧客の移行は、どのように行われるのか。オンライン・プラットフォームの登場で典型的に生じるこの問題に対して、本論文では、先行研究が指摘するような一方の顧客基盤の拡大によるクロス・グループ・プラットフォーム効果の創出だけでは、この問題が本質的に解決しないことを明らかにしたうえで、OTA（オンライン・トラベル・エージェンシー）の楽天トラベル及びじゃらんと、オンラインサロン予約のホットペッパー・ビューティーを対象とした事例分析を行っている。

本論文の主たる知見としては、プラットフォーム事業者側が顧客事業者（宿泊業者や美容室）に対して丁寧な説得活動を展開するだけでなく、様々な補助的な活動を展開することで顧客基盤を拡大してきたことが示唆されている。補助的活動とは、企画立案や消費者とのコミュニケーションへのコンサルティング活動、学びの場の設立による顧客側の学習やネットワークの構築、在庫管理のためのシステムの導入、などである。顧客にとって実際の需要の見通しが本質的に不確実であり、また新プラットフォームに適合するために顧客側は従来とは異なる能力（マーケティング等）の構築が必要になっているため、これらの対応が求められる。顧客は事業者の提案を受け、部分的に移行しながら、便益を確認するという、段階的な移行が必要であることを本論文は指摘している。

本論文の強みは、プラットフォーム事業者と供給者双方へのインタビューを通じて、新プラットフォームへの移行のプロセスを丁寧に追っている点にある。特に OTA の事例では、市場の黎明期から成長期までの時間軸で複数企業の事業展開を追いながら豊かな知見を提供している。また、複数の事例を通じて同様のプロセスを確認している点も、妥当性検証の点で評価できる。もちろん、本論文には他方で、理論的な視座の明確さや、事例研究としてのデータの豊かさ、特徴的な発見事実の深掘りに関し

て不十分な点も残されている。しかし、このような問題は、筆者による今後の研究によって解決されるべきものであり、本論文の学術的価値を損なうものではない。

よって、審査員一同は、所定の試験結果をあわせ考慮して、本論文の筆者が一橋大学学位規則第5条第1項の規定により一橋大学博士（商学）の学位を受けるに値するものと判断する。